

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 はじめのいっぽ		
○保護者評価実施期間	2025年3月1日		2025年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年3月1日		2025年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの実態に応じた支援の充実	支援会議において職員が忌憚のない意見を出し合うことで、利用者の現状や課題を丁寧に分析し、職員が療育におけるねらいや支援方法を共有している。	職員相互の情報交換や、研修の充実による資質向上を図る。
2	丁寧な保護者支援	保護者様の必要なタイミングでいつでも相談に応じることができたり、送迎時など日々の関わりの中で保護者様が安心してできる対応を心掛けている。	保護者様が、日々の療育の様子だけでなく、お子様の育ちが理解しやすく分かりやすいツールの活用を検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	LINEでの連絡は頻繁だが、双方向的な情報交換がやや不足している。 モニタリング時以外に個別相談の機会が少ない。	双方向的ではなく一方的な報告になっていることがあり、家庭からの情報が得られにくい。 個別相談の日程調整が難しい。	個別相談会の開催を検討し、保護者の悩みに寄り添い、具体的なアドバイスをを行う機会を設ける。
2	ペアレントトレーニングとして、家族支援プログラムの研修会の実施ができていない。	個別の面談時に困り感に寄り添えるよう、家庭でも取り組める内容や声掛け等のアドバイスを行っている。 個別での対応を行っているため、研修会の実施ができていない。	家庭で取り組める内容等は伝達し、研修会の実施も検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援 はじめのいっぽ		公表日 7年 3月 25日				利用児童数 16 7年 3月 日 回収数 14	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	4			人数が多くなる場合はもう少し広くてもよい。	来所人数に合わせた活動内容や、整理整頓を心掛け、空間を広く使えるようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14				手厚く見て頂いている。	今後も丁寧な関わりを心掛けていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	2	1		ピルの階段が気になる。	ピルの階段は共用部分となりますが、可能な限り配慮をし、昇降の際には安全に留意して対応していきます。
	4	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					
	5	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14					
	6	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	7	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1			指先遊びや体幹を鍛える活動など、色々な体験ができています。	一人ひとりの育ちに寄り添った活動プログラムを継続していきます。
	8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	3				
保護者への説明等	9	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	10	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	11	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	5			日頃からよく連携をとって頂いている。窓口となっている母親だけでなく、父親にも分かりやすい説明があるとよい。	家庭内での情報共有が円滑になるよう、連携方法を定期的に確認していきます。
	12	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	14					
	13	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14					
	14	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	6		分離型の通所なのでなくて当然。現時点で必要性を感じない。仕事があるので保護者会は不要。	必要に応じて検討していきます。
	15	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14					
	16	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					
	17	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14					
18	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14						
非常時等の対応	19	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	5	1		可能ならば電子上で閲覧できるようにしてほしい。	周知方法を検討していきます。
	20	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	2				
満足度	21	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	2			家でも話題にして楽しみにしている。通い始めて良い変化を感じている。子どもはやることが多いと感じている。	事業所で伸び伸びと過ごしなが、成長へと繋げていける楽しい活動内容を今後も工夫していきます。
	22	事業所の支援に満足していますか。	14				丁寧な対応、日々の報告、活動内容に満足している。写真での報告で表情を見ることができ、安心。	引き続き、家庭とのコミュニケーションを図り、連携して支援していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 はじめのいっぽ					公表日	7年 3月 25日	
		チェック項目	評価			工夫している点	課題や改善すべき点		
			はい	どちらとも いえない	いいえ				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	4					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3					
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7						
	5	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7						
	6	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7						
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	1				
	8	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7						
	9	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7						
	10	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2					
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7						
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7						
	13	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7						
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1					
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1					
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7						
	18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7						
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1					
	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3					
	21	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3					
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	1				
	23	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	1				
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7						
	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1					
保護者への説明等	26	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7						
	27	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7						
	28	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7						
	29	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	2				
	30	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7						
	31	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1					
	32	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7						
	33	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7						
	34	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	1				
	35	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1					
非常時等の対応	36	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7						
	37	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	5	2					
	38	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7						
	39	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7						
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7						
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2					